

恵光通信



令和五年
正月

年末になり寒さも厳しくなって参りました。皆様体調など崩されていませんか？今年も正福寺にたくさんの方がお越し下さいました。納骨堂やお墓にきれいなお花がお供えされているのを見て〇〇様お参りにお越しになられたんだなあ」と気付きます。小さなお子様を連れなお母さんやおばあさんの明るく楽しそうな会話が聞こえてきたり、散歩中のおいそんが池の鯉を見たりブランコに乗って休けいさいていたり、日蓮聖人の石像の前で手を合わせて心のうちを話されている方の姿もあります。時には「トイレを代貸して下さい」ということもあります。そのたびに本堂におられる日蓮聖人やお寺を守って下さっている神様がおひとりおひとりを静かに優しいまなざしで見守っておられます。

境内には春は桜、あやめ、夏は水蓮、紫蘭、秋は彼岸花、玉すだれ、金もくせい、冬は水仙、さざんかなどが咲きます。

「ちよっとそこまで」の気分です。ちよっとお寺まで足を運び下さい。小さな発見やちよっといいことがあるかもしれせんよ。

新しい年 新しい事 於正福寺本堂
始めませんか。

写経 十一時
法話 十三時
お参り 十四時

令和五年一月二十九日(日)



文字を四分割して回転させています。左の九つの文字を順番に読むと何と書いているでしょうか。

答えと住所、名前をハカキに書いて正福寺へお送り下さい。もしせやかですがプレゼントをお送り致します。しめ切りは一月十五日です。(正福寺住所はウラです)

は	に	を	に	に	に	に	に	に
は	に	を	に	に	に	に	に	に



正福寺

〒710-0132

岡山県倉敷市藤戸町天城560

私には後悔していることがある。二十五年前、若かりし20代の頃、大阪難波の交差点で信号待ちをしていた。

「少しお時間いただけませんか」

と化粧ばっちりの美しいお姉さんに声をかけられた。彼女はエステティシャンで特別なカメラを使って将来、顔の表面に出てくる隠れシミのチェックをしてくれるというのだ。試してもらおうと、普段鏡で見る自分の顔に目立つシミはないのに隠れシミがいっぱい写っていた。

「このままほっておくと将来シミだらけになってしまうよ」

とアドバイスをうけた。大げさに言うんだからと・・・嫌な気持ちになった。その後の生活は今まで通り、日焼けなどお構いなし。化粧水も乳液も、日焼け止めも塗らず。しかし、案の定、現在はシミだらけ。あのお姉さんの言葉が身に染みる。現在の自分が背負う苦しみを過去の自分が知ってくれていたならば、と思う。智慧が具わっていれば、すべてのことをあまねく見通すことができ、苦しみを生み出すこともなかっただろう。そして、老いることはありのままの姿として受け止め諦めることができるはずなのに、と自分の未熟さを反省する。

仏様は両足の尊である。福慧両足といって、すべてのものを明らかに照らし見る力の「智慧」と人に恵みを与える力の「福」が完全に具わっておられるのだ。仏さまに手を合わせ、仏様の智慧で幸福を頂戴できるように精進していきたいと思う。南無妙法蓮華経。

妙法蓮華経 藥草喻品第五

だいしようせそん おしよてんにん いっさいしゆぢゅう にせんぜごん がいにようい りよそくしそん
「大聖世尊 於諸天人 一切衆中 而宣是言 我為如来 兩足之尊」

「大聖世尊 もろもろの天・人 一切衆の中において この言(ことば)を宣(の)ぶ 我れは為(これ) 如来 両足の尊なり」にまつわる法話です